

α・オリゴ糖

ヒト臨床試験で血中中性脂肪の低減作用を確認

シクロケム

シクロケム(東京都中央区、☎03・5614・7147)は、血中中性脂肪の低減作用をはじめ、抗メタボリックシンドロームに関して多くの機能性を有するα・オリゴ糖(α・シクロデキストリン)を供給している。

その優れた機能性については、一般的な難消化性デキストリンよりも少量で血中中性脂肪の低減作用を確認しており、同社ではα・オリゴ糖を

「スーパー難消化性デキストリン」と定義し、提案を強化している。

中性脂肪の低減作用に関しては、米国・アーチュン社が実施した試験で優れた有効性が確認され、医学雑誌「メタボリズム」に論文が掲載された。

同研究では、男女34人(平均BMI:25.04)に朝食として市販の高脂肪食(脂肪分26g含有)および「α・シクロデキストリン」2gもしくは

プラセボを摂取させ、食後1時間ごとの血液中の数値を比較。その結果、プラセボ群に対してα・オリゴ糖摂取群では血中

中性脂肪の有意な低下が確認されている。

一般の難消化性デキストリンは摂取目安量を5gと設定する製品が多いが、α・オリゴ糖は1日当たり2gと少量で機能性を発揮できるため、幅広い分野の食品に有意性を訴えていく考えだ。